

国際華語特別集会のための  
メッセージアウトライン  
2021年2月13日—14日

主題：

キリストのからだとしての召会の内在的で有機的な建造

2021年国際華語特別集会のための標語

わたしたちは命の道を歩き、霊にしたがって命の木によって生きなければならず、死の道を歩いてはならず、自己にしたがって、正しいか間違っているかの知識の木によって生きてはなりません。

召会の有機的な機能は、キリストの有機的なからだとしての召会を建造するためであり、このからだはすべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

わたしたちは使徒に倣って、諸地方召会をキリストのからだの交わりの中へともたらし、使徒の足跡に従ってすべての聖徒をキリストのからだ全体のブレンディングの生活の中へともたらす必要があります。

使徒たちの教えの要点は、以下の事に関するものです。すなわち、三一の神は手順を経て、すべてを含む命を与える霊であるご自身を、彼の選ばれた者たちの中へと分与します。それは、彼らが有機的結合の中へともたらされて、神聖な注入を受け、こうして神の子たち、またキリストの肢体となるためです。その結果、彼らはキリストのからだとなって、キリストを表現します。

召会の内在的な本質は、召会の有機的な存在のためである

聖書： I ヨハネ 1:2. ヨハネ 1:12-13. 3:29-30. 12:24. 創 2:21-23. I コリント 12:12, 28

I. 召会の内在的な本質は、召会を生み出す神聖な命です—— I ヨハネ 1:2. 5:1 :

A. 召会の内在的な本質は神聖な命、不朽の命です。この命は、手順を経た三一の神がわたしたちの中へと分与したものであり、そして今もわたしたちの中へと分与しつつあるものです。この神聖な命は、実は手順を経て、今や分与する三一の神です——ヨハネ 14:6. 10:10 後半. I コリント 15:45 後半. ローマ 8:2, 10, 6, 11. II コリント 5:4 :

1. 神聖な命は、その霊がわたしたちの霊の中で再生することによって、わたしたちを生みます。神聖な霊は人の霊を生み、この二つの霊はミングリングされて一になっています——ヨハネ 3:3, 5-6. ローマ 8:16. I コリント 6:17。

2. わたしたちは再生されるとき、神の子供たちとされ、花婿であるキリストの花嫁とされ、彼の増し加わりとなります。それは、アダムの配偶者としてのエバによって予表されます——ヨハネ 1:12-13. 3:29-30. 創 2:21-23 :

a. エバが出現する前、彼女はアダムのあばら骨、すなわちアダムの一部分でした。この啓示にしたがって、召会が出現する前、召会はキリストの一部分であったと、わたしたちは言うことができます。わたしたちの肉体の肢体がわたしたちの一部分であるように、キリストの肢体はキリストの一部分です——創 2:21-23. エペソ 1:3-6. I コリント 12:12. ローマ 12:5. 参照、使徒 9:5。

b. アダムのあばら骨がエバの中へと命を分け与えて、彼女をアダムの配偶者としたように、キリストの永遠の、神聖な、不朽の命はわたしたちの中へと命を分け与えて、わたしたちを彼の配偶者とします——創 2:22. ヘブル 7:16. I コリント 15:45 後半. ローマ 8:2。

B. キリストが召会の内在的な本質となったのは、キリストが一粒の麦として地に落ちてそこで死に、彼の神聖な命を解き放って、彼の増殖となったことを通してでした——ヨハネ 12:24. ルカ 12:49-50。

C. キリストが召会の内在的な本質となったのは、キリストが復活の中で神の長子となり、彼の神聖な命を分け与えることを通してでした。それによって神は、キリストの多くの兄弟たちとしての多くの子たちを持つことができます—— I ペテロ 1:3. ローマ 8:29. ヘブル 2:11-12。

D. キリストの多くの兄弟たちは、宇宙におけるまことのぶどうの木であるキリストの中へと接ぎ木された多くの枝であり、多くの実を結び、彼の開展における拡大となります。それは、彼らが三一の神を、彼の有機体として表現するためです。ぶどうの木の枝は、キリストの命の樹液としての命を与える霊の十分な供給を受けるとき、実を結んで、内なる命の供給のあふれ流れとなります——ヨハネ 15:1, 4-5, 16, 8. ローマ 11:17, 24。

E. この三一の神の有機体は、キリストの有機的なからだであり、彼の多くの兄弟たち、すなわち彼の有機的なからだの多くの肢体で構成されています——エペソ 1:22-23. ローマ 12:5。

**II. わたしたちは召会の有機的な存在を見て、経験する必要があります——エペソ1:17:**

A. 召会が宇宙に存在するのは、神の一つの宇宙召会としてであり、神の宇宙的な表現、すなわち神の豊満のためです——I コリント10:32. 12:28. エペソ3:19 後半。

B. 召会は地上で多くの地方に広がっていき、多くの地方召会となり、地方における彼の表現となります——啓 1:4, 11:

1. I コリント第 12 章 28 節でパウロは、使徒（彼らは宇宙的で）、預言者と教える者（彼らは宇宙的であり、また地方的です）、執事と長老（彼らは地方的です）をみな一緒にしています。これが意味するのは、この節の「召会」という言葉が、宇宙召会とすべての地方召会を暗示しているということです。

2. 神の目に、宇宙召会とすべての地方召会はただ「召会 (the church)」です。手順を経て、今や分与する三一の神は一であり、彼は召会の本質そのものです。ですから、この召会は、その宇宙的な面でも地方的な面でも、一つの召会です。

C. 召会の内在的な本質は、召会の有機的な存在のためであるということに、わたしたちが戻って来るとき、諸地方召会は互いに異なることができるという誤った教えについて、間違っていることはないでしょう。すべての召会は、手順を経て分与する三一の神の、唯一の、一つの有機体です。

D. 聖書によれば、実行上の、七重の一は、わたしたちが (1) 教えにおいて一であり (I コリント 4:17. 7:17. 16:1. 使徒 2:42. ローマ 16:17. I テモテ 1:3-4. 6:3. エペソ 4:13-14)、(2) 実行において一であり (I コリント 11:16. 14:33 後半-34)、(3) 思うことにおいて一であり (ピリピ 2:2, 5-8. 4:2. I コリント 1:10)、(4) 語ることに一であり (ローマ 15:6. I コリント 1:10)、(5) (6) (7) 本質、外観、表現において一であることです (啓 1:11-12)。

**III. わたしたちは絶えずわたしたちの霊を訓練し (I テモテ4:7)、わたしたちの心を主に向けて (II コリント3:16-18)、召会の有機的な存在のために、召会の内在的な本質の実際にある、命の道にとどまらなければなりません:**

A. わたしたちは命の道を歩き、霊にしたがって命の木によって生きなければならず、死の道を歩いてはならず、自己にしたがって、正しいか間違っているかの知識の木によって生きてはなりません——創 2:9. ローマ 8:4, 6. II コリント 2:13. マタイ 16:24。

B. わたしたちが命の道にとどまるのは、極みまで主を愛することによってです。主を信じることは、主を命として受け入れることです。主を愛することは、主を命として享受することです——マルコ 12:30. 雅 1:4 前半。

C. わたしたちと主との間の愛は、わたしたちの思想にかかっています:

1. II コリント 第 11 章 2 節でパウロが言っているのは、彼がわたしたちを一人の夫に婚約させて、清純な処女としてキリストにささげたということです。それは、わたしたちがキリストに対する正常な愛をもって、キリストを享受するためです。次に 3 節でパウロが告げているのは、わたしたちの思い（文字どおりには、思想）が腐敗させられて、キリストに対する単純さと純潔を失う可能性があるということです。
  2. 人の思想（思い）の以下の病状は、キリストを命として享受することに対するあらゆる妨げです：
    - a. 人の思想の第一の病状は、思いをかたくなにすることです——II コリント 3:14。
    - b. 人の思想の第二の病状は、サタンによってくらまされていることです——4:4。
    - c. 人の思想の第三の病状は、反逆です——10:4-5。
    - d. 人の思想の第四の病状は、腐敗です——11:3。
  3. わたしたちは祈るべきです、「おお、主よ、わたしの思想を探り、わたしの思想を救って、わたしの思想が単一に完全にあなたに集中することができるようにしてください」——ローマ 8:6. 詩 139:23-24。
  4. わたしたちはキリストを召会の内在的な本質として享受するために、彼に対する燃える愛を持ち、彼にすべての事で第一位を与えなければなりません——啓 2:4-5, 7. コロサイ 1:18 後半. ローマ 12:11. II テモテ 1:6-7。
- D. どうかわたしたちが、絶えずわたしたちの神のあわれみ深い慈しみを受けますように（ヘブル 4:16. ルカ 1:78-79）。それによってわたしたちは、命の流れの中でキリストを命の木として享受することによって、命の道、命の路線にとどまり、命を維持します。そして命における成長によって、命における神の建造へと至ります。これが、召会の有機的な存在のために、わたしたちが召会の内在的な本質にとどまることです（創 2:9. 啓 22:1-2. ローマ 8:6. エペソ 4:15-16. コロサイ 2:19. ヨハネ 6:57, 63. 7:38-39. 20:22）。